

つ

どい News

第25回福岡県子育て保育のつどい(2016/2/14)
～自分を好きになる力～

第1回、福岡県子育て保育のつどいの実行委員会が9月18日19時より福岡県保育センターにて開催されました。今年は、例年掲げている、つどいの意義を少し見直し、新たな文言を入れてつどいの意義とすることになりました。

《つどいの意義》

- ① 子育てや保育・教育にかかわる多くの人たちで学習・交流を深め「ていねいな保育」を創る
- ② 「子ども・子育て支援新制度」の内容を正確に理解し、各園・地域の状況や実態の交流を積極的に行い、すべての子どもの権利が保障される保育・子育て支援制度の改善と拡充をめざすための知恵と力をつける
- ③ 子どもの未来や子どもの権利を保障するために不可欠な平和について考え合う場をつくる

☆ 主催は、福岡県保育センター・子育て保育のつどい実行委員会。子育て・保育に関心を持つ団体・個人で構成される、誰でもが気楽に参加できる、市民フォーラムをめざします

今年のつどいは、福岡市城南区の**城南市民センター**で**2月14日(日)**の開催です。第1回実行委員会では、まず、講師にお招きする日本福祉大学の近藤直子さんの著書などについて学び、今回は、全国合研の講座の記事「子どものステキさ見えているかな？」の読み合わせました。つどいの内容については、午前が分科会(4件予定)、午後が文化行事と記念講演、展示が1件という形で進めていくことが確認されました。また参加費について検討し、一般**1,800円**、個人会員**1,200円**、学生**1,000円**と決定されました。託児は例年通り1人**500円**です。次回の実行委員会で実行委員長を決定したいと思います。

今回の講師、近藤直子さんの講演は、とてもわかりやすく、聴くと元気になり毎日が楽しくなるとのこと。今後、実行委員会では、著書のひとつである、

「1歳児のころ」(ひとなる書房2011年刊)を学習していく予定です。

近藤直子さんの著書のなかなかから、「育てにくい」と感じたら(ひとなる書房2014年刊)の「はじめに」と「質問コーナー」から抜粋します。

はじめに - 「育てにくい子」はかわいい子

(前略) 親も保育者も、自分からは助けてと言いきい、まわりも手をさしのべにくい、自然には応援団がつけられていかないのが、「育てにくい子」「気になる子」の子育てなのです。(後略)

Q1 寝つきが悪いし夜中に起き出したりして大変で……

Answer ●まずは親がゆっくり休もう

(前略) 子どもが元気なら大丈夫。本人は睡眠が足りているのですから、親がゆっくり眠れる条件を保障するほうが先です。(後略)

Q4 偏食がひどいのですが……

Answer ●偏食といっても理由はいろいろ

偏食も基本的には時間が解決します。(中略) 学童期まで「偏食の女王」だった私は、嫌いな献立をつくるにおいがただでキレていました。(中略) 嫌いな食品の「嫌い度」が私の中で相対的に小さくなっているのです。(後略)



育てにくいと感じたら(ひとなる書房) 1,296円
1歳児のころ(ひとなる書房) 1,836円

※保育センターで販売しています
他の著書も販売予定です。

実行委員も募集しています。みんなで力を合わせてつどいを楽しもう!!
城南市民センターは500名収容可能です。500名の参加があるといいですね。

次回の実行委員会 は保育センターにて
2015年10月19日(月)19時～ です。

福岡県子育て保育のつどい 実行委員会

福岡県保育センター

〒810-0004 福岡市中央区渡辺通5-1-26 アロー103号館 307号室
Tel:092-761-5234 Fax:092-781-1995